

令和7年度 第2回普及啓発講演会報告書

1. 日 時：令和7年9月12日（金）10時30分～11時30分
2. 場 所：藤松市民センター
3. 演 題：①人生会議 ②もしバナゲーム （2回連続講座第2回）
4. 講 師：門司在宅医療・介護連携支援センター 鶴 智子
5. 参加者：地域住民12名、市民センター職員2名（館長1名、職員1名）、職員4名
6. アンケート結果（回収10名）
 - （1）性別：男性（2名）、女性（8名）
 - （2）年代：60代（0名）、70代（6名）、80代（4名）
 - （3）一人暮らし（5名）、配偶者と二人暮らし（3名）、子供と同居（0名）、その他（1名）（孫と同居）、未回答（1名）
 - （4）本日の内容について
わかりやすかった（10名）、いくらかわかりやすかった（0名）
【理由】
 - ・身近な問題なので考えていきたい。
 - ・初めて聞く内容で、良かったです。
 - ・自分の死後、家族が困らないよう、整理しておこうと思いました。
 - （5）あなたは、これからの治療やケアについて身近な人と話し合い、自分の気持ちを誰かに伝えておきたいと思いますか？
はい（9名）、いいえ（0名）、わからない（1名）
【理由】
 - ・自分が病気になった時のことを、あらかじめ書き記しておこうと思いました。
 - ・80歳を過ぎて、そろそろ思っているところです。
 - （6）もしバナゲームはいかがでしたか？
 - ・それぞれに良いカードが이었습니다。
 - ・自分の今までの生き方をあらためて考えました。
 - ・良いですね。もう少し時間がほしかった。
 - ・色々な事をかんがえさせられました。
 - ・少しかまえてしまいました。
 - ・自分の気持ちを再確認できました。
 - ・大変参考になりました。
 - ・楽しかった。
 - （7）その他
 - ・もしバナゲームで、困りごとをうちあげた参加者に、初対面の方が力になると名乗り出て、地域づくりの一助となった。

